

MRフリースタイルデスク取扱説明書

このたびはMRフリースタイルデスクをお買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。お求めいただいた商品の仕様・外観・価格は予告なく変更することがあります。

1. 安全のために必ずお守りください

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

警告

- 積み重ねて保管しないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 廃棄するときは購入店に相談してください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

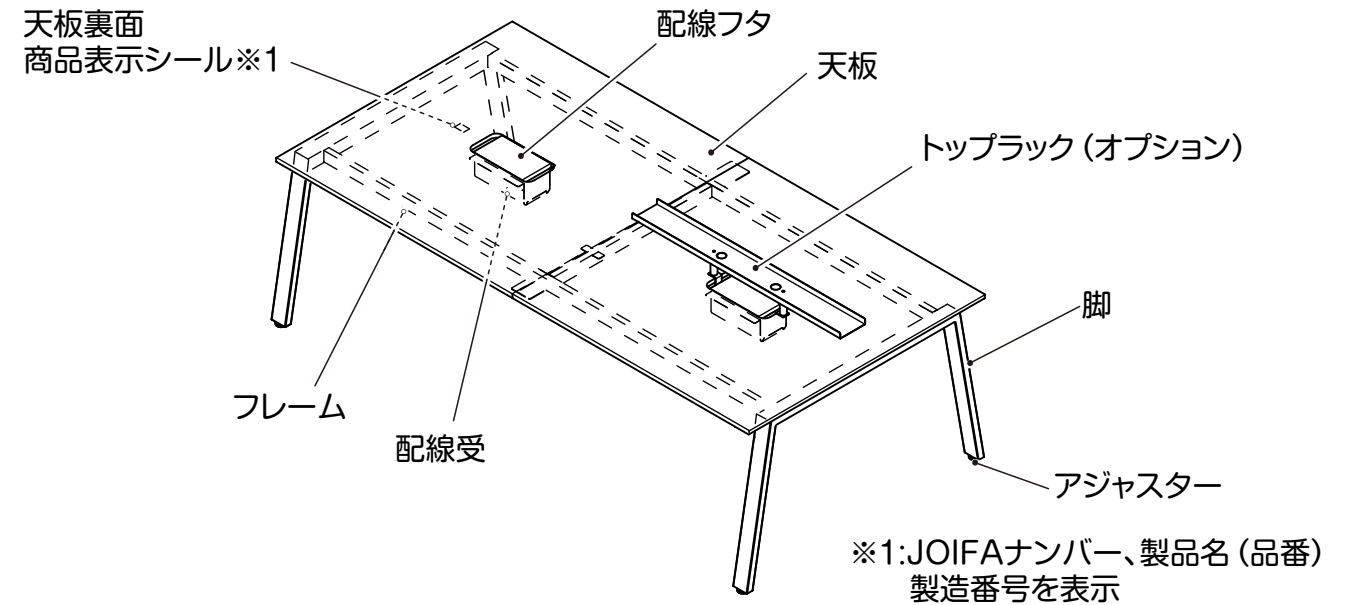
注意

- 天板の外縁部に片寄って重い物を載せないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 火や熱器具のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 天板に60kg以上（等分布質量）の物を載せないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- トップラックに5kg以上（等分布質量）の物を載せないでください。破損することがあります。
- 使用中のボルトやねじのゆるみを発見した場合は必ず締め直しを行ってください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 乱暴な扱い方や用途以外で使わないでください。破損や故障、けがをすることがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。
- 天板の固定は確実に行ってください。天板が外れてけがをすることがあります。
- 天板の上に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒したり壊れてけがをすることがあります。
- アジャスター調整は対象物を支えて行ってください。倒れたり手足をはさんでけがをすることがあります。
- 床に傾斜や段差のある不安定場所で使用しないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 木製天板に直接金属や陶器などの硬いものを載せたりボールペン等、先の硬いもので筆記しないでください。きずがつくことがあります。
- 木製天板に直接熱いカップ等を置かないでください。表面に跡がつくことがあります。
- この製品は屋内用です。屋外で使用しないでください。故障や破損によりけがをすることがあります。
- 子供が遊具代わりにしないようにしてください。けがをすることがあります。
- 脱着可能な部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤飲の可能性がります。

2. 健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

1. 製品購入時の注意事項
購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
2. 温度や湿度の変化による換気の励行
室内が著しく高温多湿になる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

3. 各部の名称



4. 主な材質

天板	メラミン化粧板(表面)、パーティクルボード(芯材)、PVC樹脂(縁材)
脚	スチールパイプ塗装仕上げ
フレーム	スチールパイプ塗装仕上げ
配線フタ	メラミン化粧板(表面)、パーティクルボード(芯材)、PVC樹脂(縁材)
配線受	鋼板塗装仕上げ
トップラック	鋼板・スチールパイプ塗装仕上げ

5. ご使用上の注意

1. 直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
2. 湿気の多い所には置かないでください。腐食・変形することがあります。
3. 熱い鍋やヤカンなど高温のものを直接天板の上に置かないでください。天板面や縁材が変色・変形することがあります。
4. 天板面や縁材に固いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。天板面や縁材を破損することがあります。
5. 天板表面の色調・仕様の関係で、汚れ及び皮脂等が目立つことがあります。その場合は下記の「7.お手入れ方法」に従って、汚れを拭き取ってください。
6. 天板表面には凹凸があります。直接筆記又はマウスを使用する場合は、下敷きやマウスパッドをご使用ください。
7. テーブルは水平を保つ様に設置してください。ガタツキのある状態で使用していると、テーブルが変形し、破損やけがをすることがあります。
8. ウッドフロア等で使用する場合は床面を傷つけない様、市販のフェルトやカーペット等を敷いてご使用ください。
9. 水や飲料等をこぼした場合は速やかに拭き取ってください。変色・変形することがあります。
10. 肘付きの椅子を使用する際は、座面や肘を上げたまま使用しないでください。肘がテーブルに当たり傷がつくことがあります。

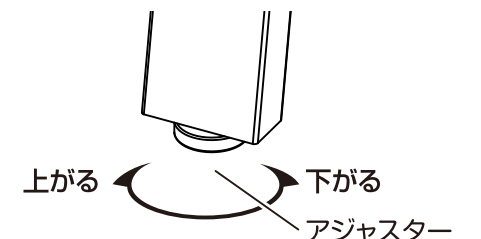
6. ご使用方法

1. アジャスターの調整

床面の状態により、設置後に本体の傾きやガタつきがある場合は、アジャスター調整を行ってください。

注意

アジャスターは10mm以上伸ばさないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。



7.お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
2. 汚れのひどい場合には弊社「オフィスクリーナー」、または薄めた中性洗剤溶液で拭いてから固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
3. ボルトやねじのゆるみが生じた場合は、締め直してください。

ご注意:シンナー・アルコール等の使用は避けてください。変色・変形や塗装が剥がれる場合があります。

8.オフィス家具の標準使用期間について

一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)では、経年劣化による事故を防止し安全にご使用いただくため「JOIFA標準使用期間」を設定し、対象の製品には構造部分の経年劣化が予測される年数を製品に貼付けた商品表示シールで表示し注意喚起しています。

※ 標準使用期間は耐用年数、保証期間ではありません。

本該当品目	テーブル	JOIFA標準使用期間	10年
-------	------	-------------	-----

9. 製品の保証について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のお客様サービスセンターへご連絡ください。

1.保証項目・期間

保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

対象部位	不具合内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部分の変・退色、レザー・クロスの摩耗	1年
機械部・可動部	引出し・スライド機械・扉の開閉・昇降機構の故障	2年
構造体	強度・構造体による破損	3年

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使用方をする所での保証期間ではありません。

●保証期間経過後の修理については有償とさせていただきます。

2.保証対象外

保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- ・火災、天災による故障または破損。
- ・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

10. 製品の仕様に関するお問い合わせ先

■製品の仕様に関するご質問は、各製品に貼付してあります商品表示シールの品番・製造番号をご確認の上、ご購入店または下記のお客様サービスセンターにお寄せください。

ガラーヂお客様センター / TEL . 0120-331-753

(9:00~17:30,土・日曜、祝日、年末年始を除く)

11. お見積り(商品・修理・パーツ)のご相談について

お見積りに関するご相談は、商品のご購入店にお問い合わせください。なお、上記お客様サービスセンターより直接のお見積り提示・販売はしておりません。

JOIFA 331

プラス株式会社

ガラーヂホームページアドレス <https://garage.plus.co.jp/>

Z8411090

MRフリースタイルデスク組立説明書 (W1200・2000・2400タイプ)

組立方法(必ず二人以上で作業してください。)

- 組立及び設置は、必ず組立説明書(本紙)に基づいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品・付属品をご確認ください。
- 作業は製品の表面を傷つけないように、梱包箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いて行ってください。



組立部材・部品一覧

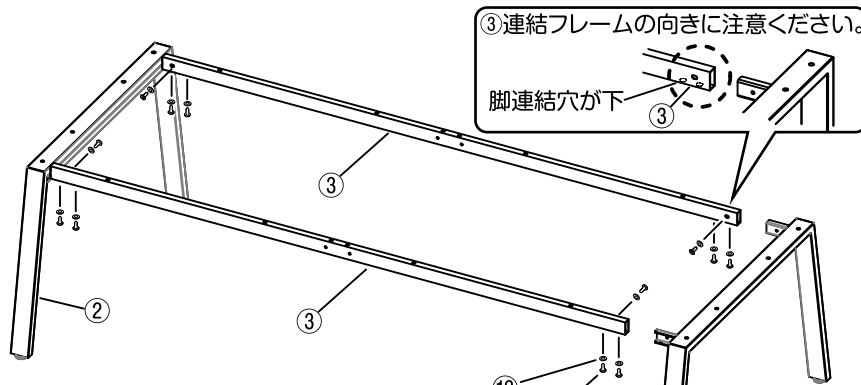
付属品… 六角レンチ (M8用×1 M6用×1)

	①天板	②エンド脚	③連結フレーム	④中間連結フレーム	⑤中間連結プレート	⑥配線受	⑦配線フタ	⑧ボルト	⑨ボルト	⑩ボルト	⑪ボルト	⑫ワッシャー	⑬ワッシャー	⑭ボルト
部材			 短 長											
W1200	1	2	2 ※短	—	—	1	1	12	—	8	4	12	—	4
W2000/2400	2	2	2 ※長	1	2	2	2	20	8	8	12	20	8	8
部材														※配線受用
W1200														4
W2000/2400														8

※ボルトの長さに注意してください。

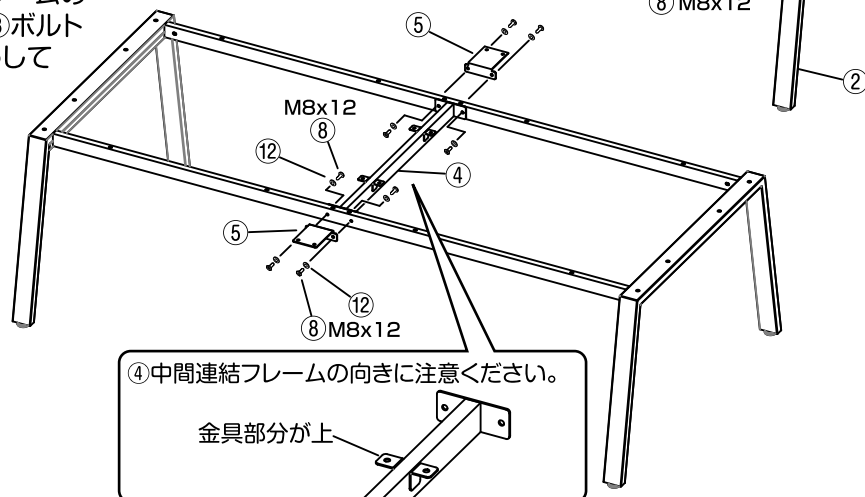
1. 本体(脚・フレーム)の組立

- ②エンド脚に③連結フレームを差し込んで、⑧ボルトと⑫ワッシャー(M8用)で仮留めしてください。(12ヶ所)



【W2000/2400の場合】

- ④中間連結フレームを③連結フレームの側面(内側)穴位置に合わせて、⑧ボルトと⑫ワッシャー(M8用)で仮留めしてください。

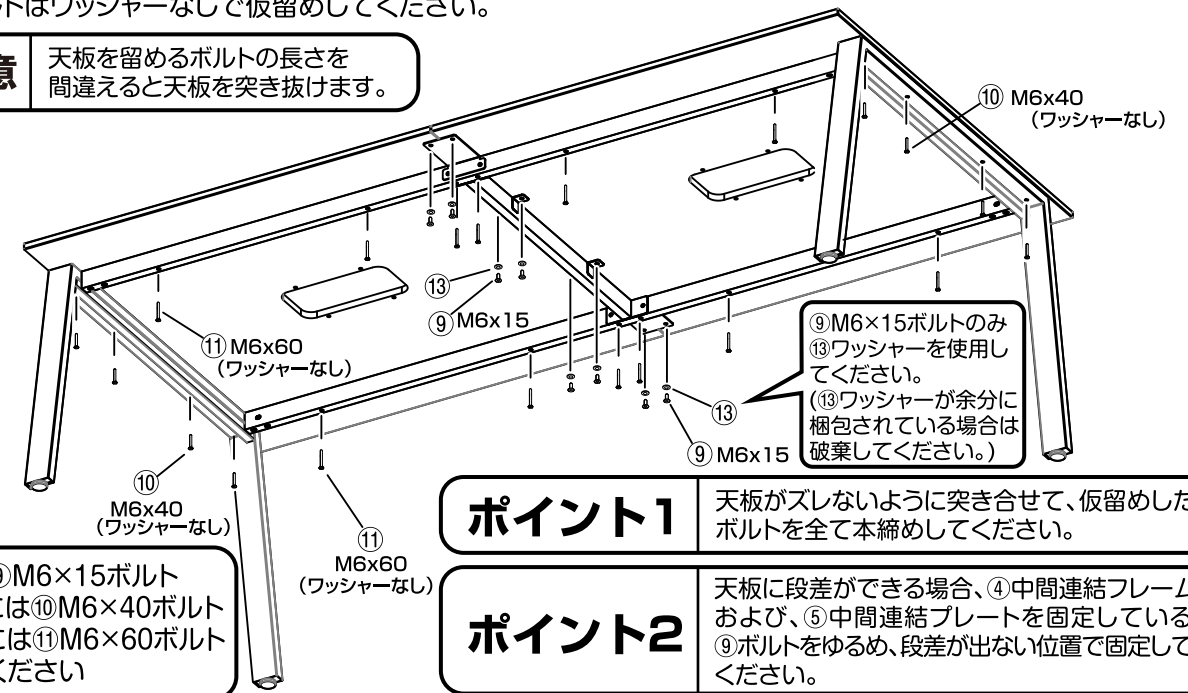


- ⑤中間連結プレートを③連結フレーム側面(外側)に合わせて、⑧ボルトと⑫ワッシャー(M8用)で仮留めしてください。

2. 天板の取付

- ①天板を本体の上に載せて、脚とフレームの穴位置に合わせ、⑨ボルトに⑬ワッシャー(M6用)を入れて⑩・⑪ボルトはワッシャーなしで仮留めしてください。

注意 天板を留めるボルトの長さを間違えると天板を突き抜けます。



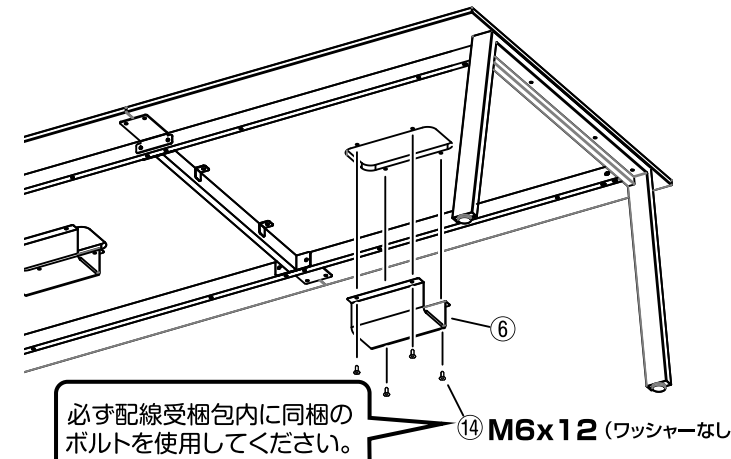
ポイント1 天板がズレないように突き合わせて、仮留めしたボルトを全て本締めしてください。

ポイント2 天板に段差ができる場合、④中間連結フレームおよび、⑤中間連結プレートを固定している⑨ボルトをゆるめ、段差が出ない位置で固定してください。

※金具部には⑨M6×15ボルト
エンド脚部には⑩M6×40ボルト
フレーム部には⑪M6×60ボルト
を使用してください

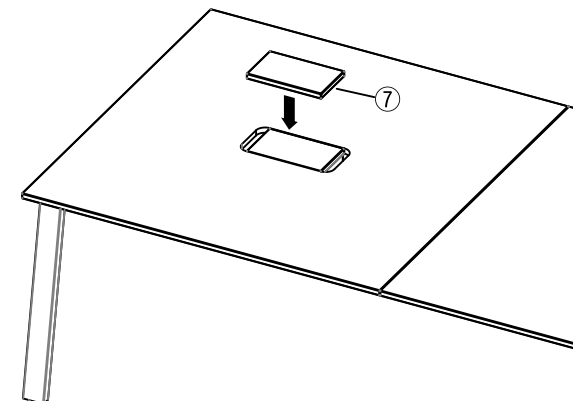
3. 配線受の取付

- ⑥配線受を天板配線口裏の穴に合わせて⑭ボルトで固定してください。(配線受1ヶにつき4ヶ所)



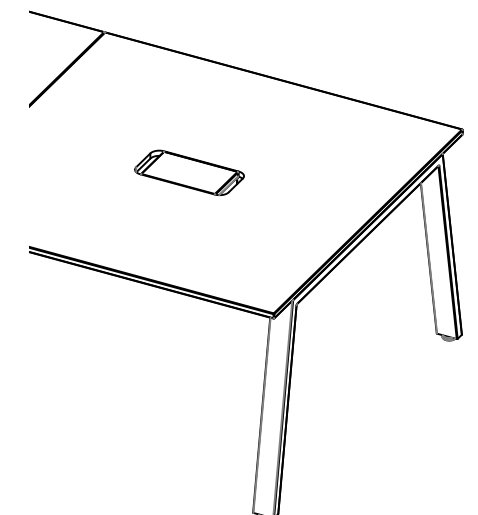
注意 天板を留めるボルトの長さを間違えると天板を突き抜けます。

- ⑦配線フタを天板上から載せてください。



4. アジャスターの調整

- テーブル設置後、ガタツキを確認してください。ガタツキがある場合は、脚部のアジャスターを回して、水平を保つようにしてください。



アジャスターの調整範囲は+10mmです。

上がる 下がる

MRフリースタイルデスク組立説明書 (W3000・3600・4000・4800タイプ)

組立方法(必ず二人以上で作業してください。)

- 組立及び設置は、必ず組立説明書(本紙)に基づいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品・付属品をご確認ください。
- 作業は製品の表面を傷つけないように、梱包箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いて行ってください。



2人以上で組立

組立部材・部品一覧

付属品… 六角レンチ (M8用×1 M6用×1)

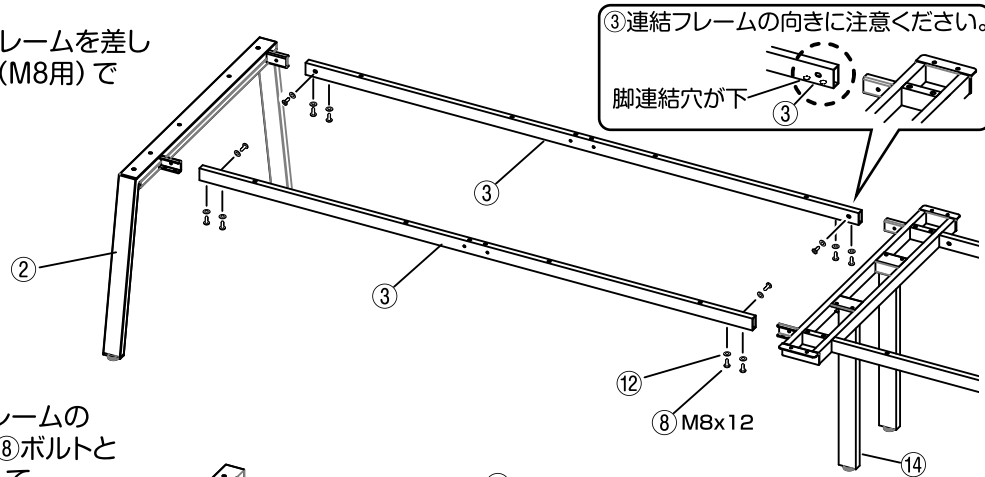
	①天板	②エンド脚	③連結フレーム		④中間連結フレーム	⑤中間連結プレート	⑥配線受
部材							
W3000/3600	3	2	2 ※短 / 2 ※長	1	2	3	
W4000/4800	4	2	4 ※長	2	4	4	

	⑦配線フタ	⑧ボルト	⑨ボルト	⑩ボルト	⑪ボルト	⑫ワッシャー	⑬ワッシャー	⑭ボルト	⑮中間脚
部材									
		M8x12	M6x15	M6x40	M6x60	M8用	M6用	※配線受用 M6x12	
W3600	3	32	16	8	20	32	16	12	1
W4000/4800	4	40	24	8	28	40	24	16	1

※ボルトの長さにご注意ください。

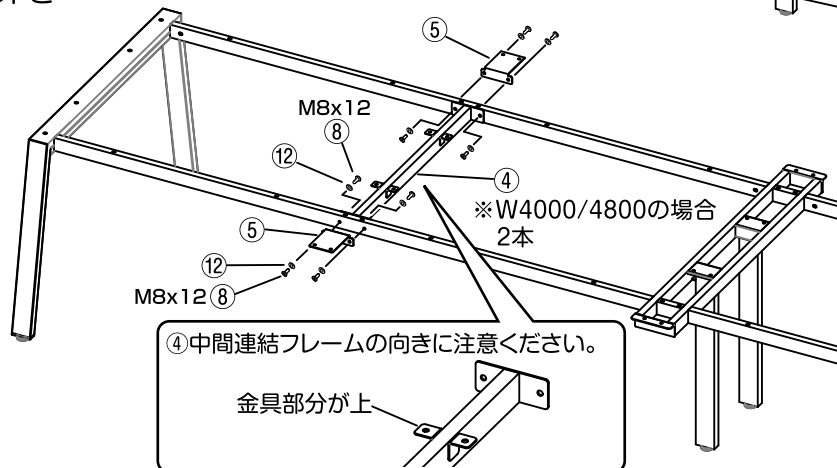
1. 本体(脚・フレーム)の組立

- ②エンド脚・⑭中間脚に③連結フレームを差し込んで、⑧ボルトと⑫ワッシャー(M8用)で仮留めしてください。(24ヶ所)



- ④中間連結フレームを③連結フレームの側面(内側)穴位置に合わせて、⑧ボルトと⑫ワッシャー(M8用)で仮留めしてください。

- ⑤中間連結プレートを③連結フレーム側面(外側)穴位置に合わせて、⑧ボルトと⑫ワッシャー(M8用)で仮留めしてください。

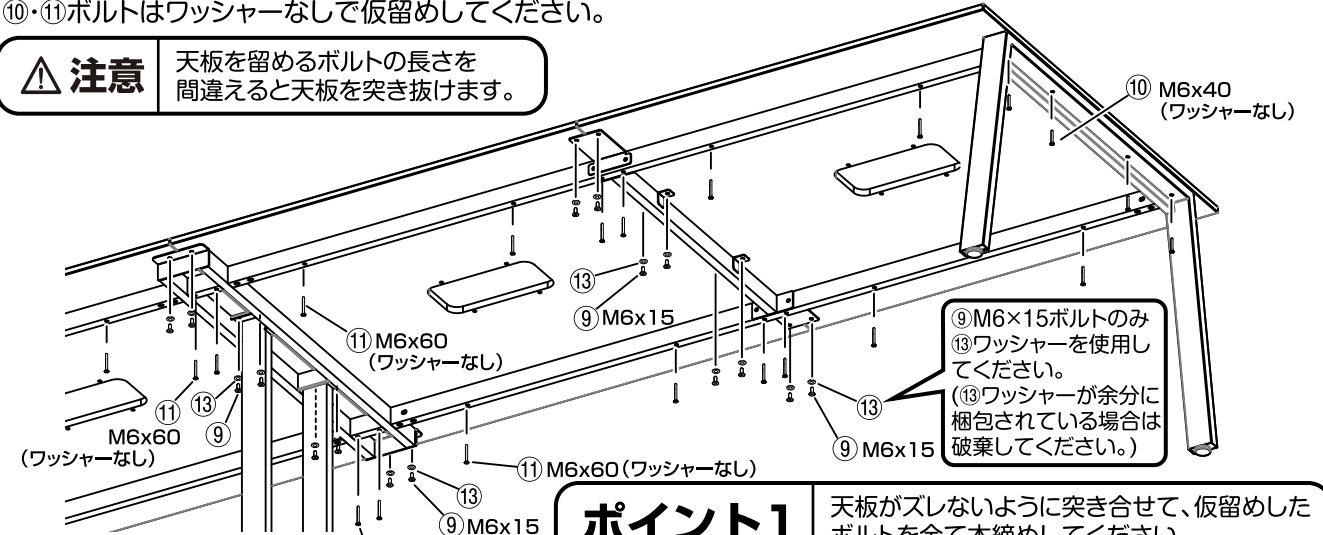


2. 天板の取付

- ①天板を本体の上に載せて、脚とフレームの穴位置に合わせて、⑨ボルトに⑬ワッシャー(M6用)を入れて⑩・⑪ボルトはワッシャーなしで仮留めしてください。



注意 天板を留めるボルトの長さを間違えると天板を突き抜けます。



ポイント1

天板がズレないように突き合わせて、仮留めしたボルトを全て本締めしてください。

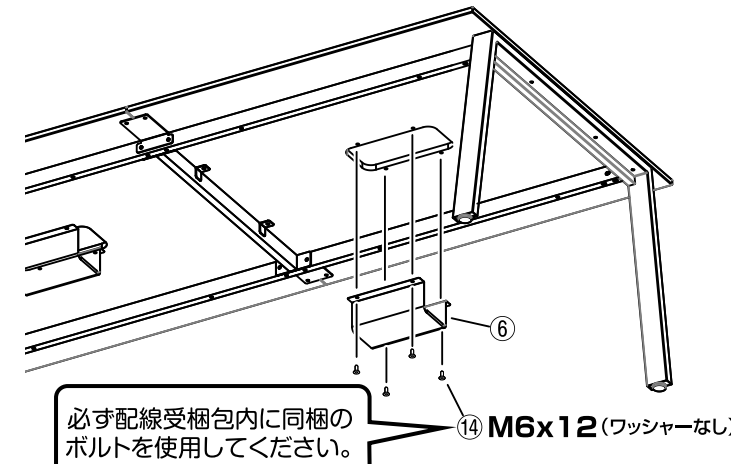
ポイント2

天板に段差ができる場合、④中間連結フレーム・⑤中間連結プレートおよび、⑮中間脚を固定している⑨⑪ボルトをゆるめ、段差が出ない位置で固定してください。

※金具部には⑨M6×15ボルト
脚部には⑩M6×42ボルト
フレーム部には⑪M6×62ボルト
を使用してください

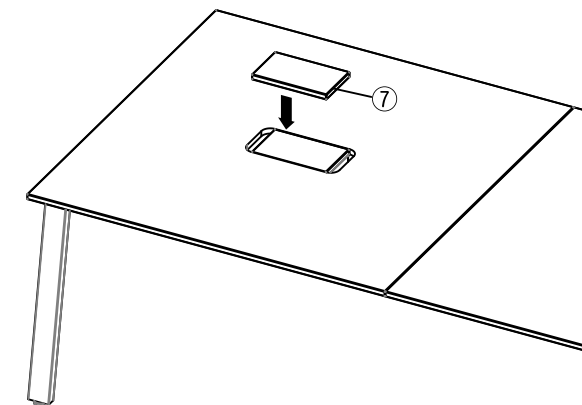
3. 配線受の取付

- ⑥配線受を天板配線口裏の穴に合わせて⑭ボルトで固定してください。(配線受1ヶにつき4ヶ所)



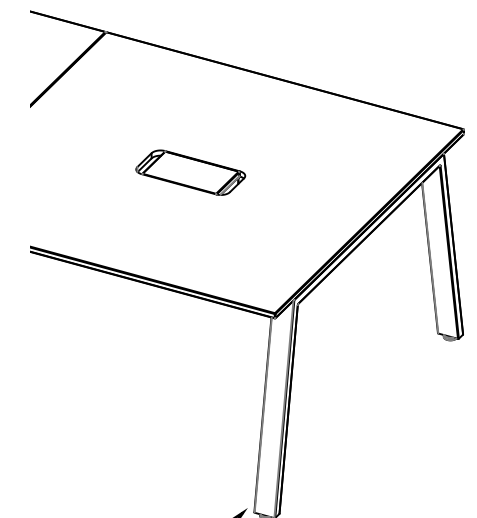
注意 天板を留めるボルトの長さを間違えると天板を突き抜けます。

- ⑦配線フタを天板上から載せてください。



4. アジャスターの調整

- テーブル設置後、ガタツキを確認してください。ガタツキがある場合は、脚部のアジャスターを回して、水平を保つようにしてください。



アジャスターの調整範囲は+10mmです。

上がる 下がる